

# 令和2年度事業報告

令和2年4月、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が全国都道府県に拡大され、不要不急の外出の自粛をはじめ、イベント等の開催の制限、施設の使用制限が要請されるなど日常生活が大きく変わり、予定されていた事業が中止・見送りなどにより思うように実施できない想定外の事態となった。厳しい状況が続く中、感染拡大防止策を取り入れながら出来る限りの事業を実施した。

## 1. 食品衛生思想の普及啓発に関わる情報の収集及び調査研究に関する事業

食品の安全確保並びに食中毒事故防止を目的として各種事業を実施し、食品衛生の普及向上を図った。

### (1) 中・四国ブロック大会、全国大会等に出席し、最新の情報の収集

#### ① 中・四国ブロック連絡協議会 協議機関

令和2年7月15日(水)午後3時より愛媛県松山市にて開催予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による開催に変更となり、各県市支部から提出された議題の回答等関係資料の配布をもって決議となった。

#### ② 中・四国ブロック連絡協議会

令和2年7月16日(木)午前10時30分より愛媛県松山市にて開催予定のところ、同じく新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による開催に変更となり、令和元年度事業報告及び収支決算、令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)、日本食品衛生協会の事業計画等についての関係資料の配布をもって決議となった。

#### ③ 中・四国ブロック大会

令和2年7月16日(木)午後2時より愛媛県松山市にて開催予定のところ、同じく新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による開催に変更となり、厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰、「あんしんフード君」10万件達成記念特別感謝状贈呈については該当者の表彰状を送付、日本食品衛生協会の重点事業、特別講演・記念講演等は大会誌及び関係資料によって書面大会とされた。

#### ④ 全国食品衛生大会(全国支部長会議・食品衛生指導員全国大会・表彰式)

令和2年10月21日(水)に東京都にて全国支部長会議、食品衛生指導員全国大会、翌22日(木)に厚生労働大臣・日本食品衛生協会会長等の表彰式が開催される予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催見送りとなった。

### (2) 食中毒防止啓発広報

夏期を中心に、ポスター・しおり・カットパン等啓発グッズの配布、食協会報の配布、食中毒注意報発令時の連絡、広報車等により消費者に向けた普及啓発広報を行った。

### (3) 全国食品衛生月間の実施(8月：厚生労働省と共催)

主要な場所への月間ポスターの貼付、懇談会等を各協会ごとに開催し、食中毒予防を呼びかけた。

### (4) 消費者との懇談会等の実施

食中毒予防の手洗いリーフレット等の配布、食中毒予防についての講演、テキスト・DVDを基に学習するなどし、食品衛生に関する相談や添加物等食品に関する情報の提供等、知識の普及啓発を行った。

### (5) 「ノロウイルス食中毒予防強化期間」事業の実施(11月～1月)

令和2年10月～令和3年1月の間に開催された責任者養成講習会において、手洗いDVDの視聴や「ノロウイルス食中毒・感染症からまもる!!」のテキストの使用、リーフレットを配布するなどし、ノロウイルスによる食中毒を未然に防止するための確かな情報提供を行った。東部4回、中部4回(養成2回、定期2回)、西部4回開催。

### (6) ホームページにより、食品衛生に関する情報提供を行った。

## 2. 食品営業施設の自主管理及び改善指導に関する事業

食品衛生指導員巡回指導の充実強化を図った。

### (1) 日本食品衛生協会指導項目に基づき、また、鳥取県食品衛生協会指導項目を設定し、営業施設の改善等を指導した。

- ① 日本食品衛生協会指導項目
  - HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施
- ② 鳥取県食品衛生協会指導項目
  - HACCPに沿った衛生管理の実施

(2)年間を通じて、指導票を活用し食品衛生指導員による巡回指導を実施し、HACCP普及啓発リーフレット等を配布した。

(3)食品衛生指導員部会の開催

各会長並びに各協会の指導員部員、事務職員等が出席し、令和2年7月21日(火)に倉吉体育文化会館(倉吉市)において開催した。「巡回指導資料」のテキスト、「HACCPのに沿った衛生管理の導入に向けた準備を進めましょう!」のチラシ及び月刊誌「食と健康」4月号を用いて、令和2年度重点指導項目、巡回指導上の問題点等について研修し、協議した。

(4)食品衛生知識の啓発と施設の改善意欲を高めることを目的として、優秀な食品衛生推薦店舗を選定し、57店舗に推薦状(プレート)を交付した。推薦期間は4月1日から3月31日の一年間。

### 3. 食品営業賠償共済及び会員の福利厚生に関する事業

(1)共済部会の開催

各会長並びに各協会の共済担当者、事務職員等が出席し、令和2年9月15日(火)に米子コンベンションセンター(米子市)において開催した。保険会社担当者により、新型コロナウイルス感染症に伴う補償等、「あんしんフード君」の推進をはじめ、賠償共済、業務災害補償プラン、生命共済等の共済事業についての説明を受け、日頃の共済推進の問題点、取組み状況等について研修した。

### 4. 食品衛生指導員の養成及び教育研修並びに活動の支援に関する事業

食品衛生指導員の資質向上を図った。

(1)食品衛生指導員研修会の開催

指導項目等についての指導の方法、HACCP導入確認検査の実施について等、最新知識等を習得した。

(2)第10回食品衛生指導員全国研修会(近畿、中・四国、九州ブロック)への参加

令和2年9月に大阪市で開催予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見送ることとなり、実施予定の研修講義内容について収録されたDVDを各支所へ配布した。

(3)食品衛生指導員養成講習会の実施

令和2年10月8日(木)に中部総合事務所において、食品衛生指導員候補者に対し養成講習カリキュラムに沿って4年ぶりに講習会を開催し、24名が受講した。(指導員委嘱は令和3年4月1日)

### 5. 食品衛生の顕彰に関する事業

(1)鳥取県食品衛生大会の開催(主催:鳥取県・県食協、共催:鳥取市)

令和2年11月19日(木)午前11時よりホテルモナーク鳥取にて鳥取県食品衛生大会開催を予定していたところ、東部地区において新型コロナウイルス感染症が警報レベルとなったため急遽中止とし、東・中・西部各々での対応として表彰式を実施した。

① 伝達式

- ア. 厚生労働大臣表彰
- イ. 公益社団法人日本食品衛生協会会長表彰(感謝状含む)
- ウ. 公益社団法人日本食品衛生協会理事長表彰
- エ. 食品衛生指導員制度創設60周年記念会長感謝状

② 表彰式

- ア. 鳥取県知事表彰
- イ. 一般社団法人鳥取県食品衛生協会会長表彰

東部／令和2年11月19日(木) 午前11時～	県庁生活環境部長室	参加者:8名
中部／令和2年11月26日(木) 午後2時～	中部総合事務所2号館保健指導室	参加者:17名
西部／令和2年12月3日(木) 午後2時～	西部総合事務所3階第4会議室	参加者:12名

## 6. 食品衛生責任者の教育に関する事業

食品衛生責任者の設置及び自主管理体制の確立を図った。

### (1) 食品衛生責任者講習会の実施

鳥取県より指定を受け、食品衛生責任者講習会(養成・定期)を実施しており、年間を通して、養成講習会は24回開催し受講者は683名、定期講習会は23回開催し803名が受講した。

但し、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、4～7月の間に養成8回、定期7回が中止となった。

## 7. 食品衛生行政に対する協力に関する事業

### (1) HACCP導入確認検査の実施(鳥取県委託事業)

令和2年8月～令和3年2月にかけて、鳥取県開催のHACCP導入研修会受講者等を対象とした食品事業所について、中・西部の食品衛生推進員延べ109名がHACCP導入確認票により巡回し指導を行った。確認票等の回収枚数は556枚。

### (2) 調理師試験準備講習会の実施

東部会場／令和2年9月1日(火)・2日(水)・3日(木)	東部庁舎	8名
中部会場／令和2年9月1日(火)・2日(水)・3日(木)	中部総合事務所	20名
西部会場／令和2年8月18日(火)・19日(水)・20日(木)	米子コンベンションセンター	16名

### (3) ふぐ処理師試験準備講習会の実施

令和2年12月11日(金) 伯耆しあわせの郷(倉吉市) 5名

### (4) 生食用食肉テキストの販売

鳥取県が開催する「生食用食肉の取扱に関する講習会」の東・中・西部会場において、テキスト21冊を販売した。各会場年1回(東部6月24日(水)、中部10月29日(木)、西部2月8日(月))実施された。

## 8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 「あんしんフード君」・「食品営業賠償共済」の全員加入を目標とし、総合食品賠償共済、火災共済・食協生命共済の加入推進、指導員活動の強化に努めた。特に「あんしんフード君」は、令和元年度～2年度の2年間、日本食品衛生協会の推進目標の設定により、750件の達成に向けて普及推進を図ったところ、令和3年2月末現在で597件の加入件数となっている。